2009年6月 春沢集中

恵那山 高野谷

2009年6月6~7日 メンバー: 白土(L)、西村、後藤(記)

今年の春沢集中は中央アルプス最南端の恵那山。中央アルプスは40年以上前の11月下旬 初冬の木曽駒から越百山の縦 走以来一度も訪れていない。

この時、尾根筋でアイゼンを外して歩き 始めたとたんアイスバーンに足を取られ足 首捻挫 登山靴も脱ぐことが出来ないぐら いに腫れ上がり、ようやくの思いで下山した 苦い経験がある。これが山での唯一の大怪 我で、中アには良い思い出はない。

今回の沢集中で良い印象が持てればよいのだが・・・

6月6日(曇り)

富士見台公園線から続く峰越林道のゲートに到着したのは7時前、駐車場には何台かの車が駐車し中に水戸ナンバーのマイクロバスもある。恵那山は百名山なので登山者も多いのか?

1/25000の地図では高野谷はこのゲートから本谷川を2kmほど下ったところに流れ込んでいる沢を指している。これから登る高野谷は駐車場から直ぐ上流の枝沢となる。

身支度を整え駐車場から本谷川に入り5 分ほど歩くと高野谷の出合いとなる。高野谷に入り、小さな堰堤を2つほど超えると直ぐに1330mの二俣の手前に着いた。

時間は早いが、これから先には適当なテン場も無く、明日の行程も短く、集中には充分間に合うとのことで予定通りこの場所にツエルトを張った。

時間は充分にある。駐車場で出会った釣師の話では1週間前、ゲートから先の本谷川は入食い状態で25Cm 前後の岩魚を短い時間で2、30匹ほどで釣り上げたとのこと。早速西村さん準備を整え釣りに出かけ

t=°

残った白土さんと私は薪を集め11時前には火も起こり塩焼きの焚き火準備完了。 昼前からビールを飲みつつ、西村さんを待つがなかなか戻ってこない。もっとビールを持って来れば良かったと悔やまれた。15時過ぎ白土さん特製の3時のおやつ 日本そばを食べ終えた頃、ようやく西村さんが戻ってきたが釣果は1匹。どうしたことだろう?白土さんの新玉ねぎ牛丼と、1匹の岩魚塩焼きとで夕食を終えた。



白土さん特製のおそば



シダの生い茂ったテン場 夕食準備の白土さん

6月6日(晴れ)

6時20分出発。入渓者は少なく釣師も入っていないようで、人工のものは何一つ無い。6、700m に達する青々とした大きなシダがいたるところに伸び本当にきれいな沢だ。

二俣を過ぎてから小さな滝が続き特に難しい処も無かったが、一ヶ所念のためと云う事でロープを出した。8時前1500mを過ぎた辺りで、何段かの小さな滝が連なり10mほどの小さなゴルジュ(?)が現れた。



小さなゴルジュ(?)を登る 白土さん、西村さん

この先20、30分ほどで1650mの上部の二俣となり右俣を登る。この辺りから次第に水量は少なくなる。暫く進み9時前に1800m地点の二俣分岐に出た。左俣は10m近い垂直の黒々とした大岩が行く手を阻んでいる。右俣を進み、最後に20分程の笹の藪コギで登山道に出ることが出来た。



最後の分岐 左俣の垂直な大岩 右俣を登る

登山道を1時間ほどで集中場所の恵那山々頂小屋へ到着。全パーティー到着の後、 尾根筋の登山道を降り怪我も無く無事に駐車場へ到着した。

高野谷は"こぢんまり"とした沢でシダの 美しさが印象的だった。

コースタイム

6月6日

駐車場(6:40) - 二俣 BP(8:10)

6月7日

二俣 BP(6:20) - 登山道(10:10/40)

- 恵那山山頂小屋(11:40/13:00) - 広河原登山口(15:20) - 駐車場(16:00)

地形図(1/25000)

中津川、伊那駒場